

第45回(2010年度)
東海社会人サッカートーナメント大会



主催 東海サッカー協会・東海社会人サッカー連盟

主管 (社)三重県サッカー協会

第45回(2010年度) 東海社会人サッカートーナメント大会

1. 主催 東海サッカー協会・東海社会人サッカー連盟
2. 主管 (社)三重県サッカー協会・三重県社会人サッカー連盟
大会責任者 (社)三重県サッカー協会 専務理事 高井 幸郎
運営責任者 三重県社会人サッカー連盟 委員長 北寺 秀彰
3. 大会期日 2010年12月11日(土)・12日(日)
4. 試合会場 三重県営鈴鹿スポーツガーデン
5. 大会規定
 - (1) 競技規則
2010年度(財)日本サッカー協会制定の最新の競技規則を適用する。
 - (2) 選手エントリー数
 - ①22名を限度とし、参加申込み後のエントリー変更は認めない。
 - ②外国籍選手は5名までエントリー可、試合への登録・出場は3名までとする。
 - ③エントリー選手の締切りは各県リーグ、該当チームにて最終試合までに登録が完了されていること。
 - (3) 試合時間
 - ①80分(40分ハーフ)とする。同点の場合は20分の延長戦を行い、なお同点の場合はPK方式により決定する。
 - ②ハーフタイムのインターバルは10分間とする。
 - (4) 選手交代
5名登録中の3名まで交代可能
 - (5) 退場選手等の扱い
次の公式戦への出場停止とする。
以後の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会にて裁定する。
 - (6) ユニホーム/装身具
 - ①ユニホームは正副2色用意すること。
 - ②選手は参加申込書に登録された背番号のユニホームを着用のこと。
 - ③(財)日本サッカー協会ユニホーム規定に合致していること。
 - ④一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
 - (7) ベンチ
 - ①組み合わせ表の上側のチームがピッチに向かって左側、下側のチームが右側とする。
 - ②ベンチに入る事のできるチーム役員は最大6名と交代選手5名とする。
 - (8) テクニカルエリアを設置する。
試合中に指示できる人物は特定せず、その都度1名とする。
 - (9) ウォームアップ
 - ①ピッチ内の使用は試合開始30分前から15分間のみとする。
 - ②アップ会場等詳細についてはマッチミーティング時に運営者が説明します。

(10) 試合ボール

大会運営側で用意する。

(11) マッチコーディネーションミーティング(以下マッチミーティング)

- ①出場チームは試合開始90分前にメンバー表等関係書類を本部より受取ること。
- ②試合開始70分前にマッチミーティングを行う。(会場については到着時に案内)
- ③マッチミーティングのチーム出席者は監督、他1名の2名以内とする。
- ④チームはユニホーム正副1着とメンバー表(記入済)、(財)日本サッカー協会選手登録証(顔写真貼付)を持参すること。

尚、選手登録証はメンバー表の順に並べて提示すること。

(12) A、B各ブロックの優勝チームは2011年度東海社会人リーグに昇格できる。

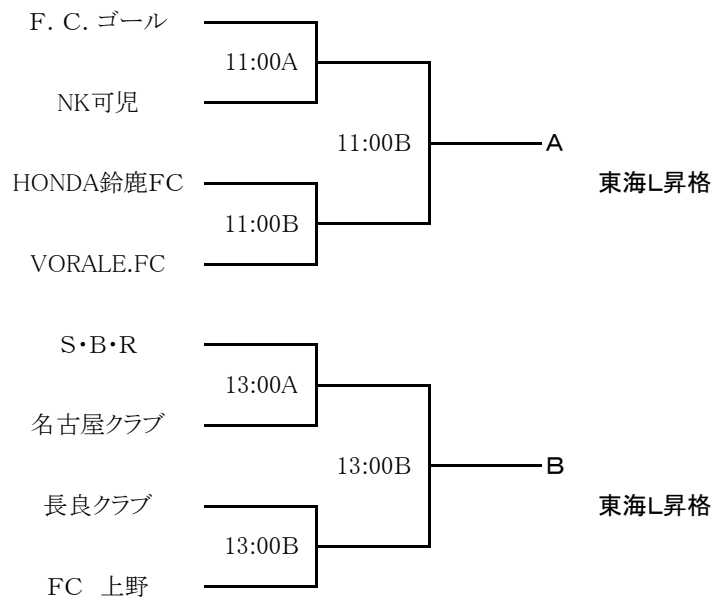
尚、東海社会人リーグ昇格チームに順位付けを必要とする場合は、Aブロック優勝チームを1位、Bブロック優勝チームを2位とする。

(13) 本大会の規律・フェアプレー委員会を次のとおり設置する。

委員長	三浦 陽一	東海社会人サッカー連盟	委員長
委員	土本 泰	東海サッカー協会	審判委員長
委員	清水 佐平	東海社会人サッカー連盟	委員
委員	杉浦 幹根	東海社会人サッカー連盟	委員
委員	北寺 秀彰	三重県社会人サッカー連盟	運営責任者

(14) 大会組合せ

12月11日(土)・12月12日(日)



会 場

- A: 三重県営鈴鹿スポーツガーデン 第三グラウンド
- B: 三重県営鈴鹿スポーツガーデンメイングラウンド

大会役員

大会会長	水谷 晃三			
大会副会長	岡野 光善	桑名 聰	鈴木 登	
大会委員長	高井 幸郎			
大会副委員長	尾関 孝昭	小長谷 洋	小久保 孝	
大会委員	三浦 陽一	清水 佐平	杉浦 幹根	
競技委員長	北寺 秀彰			
競技副委員長	長谷川 明彦			
競技委員	梶原 渉	大川 昌紀	太田 正明	水越 敏之
	中川 秀紀	伊藤 健二	川井 亘	後藤 光雄
審判委員長	土本 泰			
審判副委員長	大矢 義男	入江 勉	平岡 道郎	
審判委員	東海サッカー協会	審判委員会		